

**【中学校第1学年の実践】**

## 1 主題名

信念を曲げずに、困難を乗り越える強い心【A 希望と勇気、克己と強い意志】

## 2 教材

コタンの赤ひげ先生 高橋 房次（北海道版道徳教材（中学校用））

## 3 主題設定の理由【指導観】

## (1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

希望と勇気、克己と強い意志とは、より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げることである。自分自身で目標を設定し、その達成を目指すことは、日々の生活や人生を充実したものにする。しかし、目標の実現には様々な困難を乗り越えなくてはならず、困難や失敗を経験することもある。逆境から立ち直り、目標に向かって努力し続けるには、困難や失敗を受け止めて希望と勇気を失わない前向きな姿勢や、失敗にとらわれない柔軟でしなやかな思考が求められる。困難や失敗の原因を省みれば、自己の内面にある気まぐれや無計画、怠け心などの弱さに思い至ることが多い。困難や失敗があっても、それを乗り越え最後までやり遂げようとする強い意志について考えさせる指導が大切である。

第1学年の指導に当たっては、まず、生活の中で具体的な目標を設定させ、その実現に向けて努力する体験を通して、達成できたときの成就感や満足感を繰り返し味わせるとともに、困難なことがあっても、挑戦することから逃げずに目標に向かって努力し続ける姿勢が大切であることを伝え、直面する困難や失敗にも自分なりの方法で乗り越えようとする実践意欲や態度を育てていきたい。

## (2) 生徒の実態【生徒観】

目標に向かって努力を続け、直面する困難や失敗にも自分なりの方法で乗り越えようとする実践意欲や態度を育てるために、道徳の時間（H31からは道徳科）以外では、次のような指導を行っている。

## ①国語「花曇りの向こう」、「幻の魚は生きていた」

希望や強い意志を持ち、あきらめずに努力することの大切さについて考えるために、教材に描かれる登場人物の心情の変化を自分との関わりで考えさせ、ノートにまとめさせる指導を行った。生徒は、困難を乗り越える登場人物の姿から、前向きに未来に向うことの大切さを考えることができたが、直面する困難や失敗にも自分なりの方法で乗り越えようとするということについて、道徳の時間にじっくりと考えさせる指導が必要である。

## ②特別活動「体育大会」、「学校祭」

目標を設定し、その目標の達成に向けて努力しようとする態度を養うため、仲間と励まし合いながら挑戦し続ける指導を行った。生徒は、目標が達成できたときの成就感や満足感を味わいながら、挑戦することから逃げずに目標に向かって努力し続けることの大切さについて実感することができたが、直面する困難や失敗に自分なりの方法で乗り越えようとする実践意欲や態度について、道徳の時間に生徒同士で対話しながら、他者理解を深める必要がある。

### (3) 教材について【教材観】

目標に向かって努力を続け、直面する困難や失敗を乗り越える大切さについて、多面的・多角的に考えさせるために、高橋房次が困難や逆境を乗り越えて、理想とする「世のため人のための医療」を行った生き方を中心に話し合い、直面する困難や失敗にも自分なりの方法で乗り越えようとする実践意欲や態度を養う。

本時においては、中心的な発問とそれを効果的にするための基本発問を次のとおり設定する。

#### 1 「◎中心的な発問」の場面

→信念を曲げずに、困難を乗り越えて仕事を貫いた房次の姿から道徳的価値について多面的・多角的に考えさせる。

◆意 図：理想とする「世のため人のための医療」を行うため、困難や逆境を乗り越える房次の強い心について考えさせ、価値理解を深めさせたい。その際、互いの考えを交流することにより、他者理解を深めさせたり、他の内容項目との関連を図りながら、強い意志について多面的・多角的に考えさせたりする。

●房次の思い：「世のため人のため」という母の言葉を胸に、困っている人のために働くことが私の使命であるという思い。

#### 2 「○基本発問」の場面

→房次が目指した医療から房次の理想への強い思いについて考えさせる。

◆意 図：房次が目指した理想の医療に関わり、房次の死を悲しむ人々の様子や困難な状況の中での房次の行動から、房次の理想への強い思いとその思いに基づく困難を乗り越える生き方について考えさせたい。その際、生徒同士で話し合いながら、共通点や相違点について交流させることで、他者理解を深めさせるとともに多面的・多角的に考えさせたい。

●房次の思い：和人とアイヌの人たちを分け隔てて診察するようなことはしない。目の前の困っている人を助けたい、そのためならば苦勞はいとわないという思い。

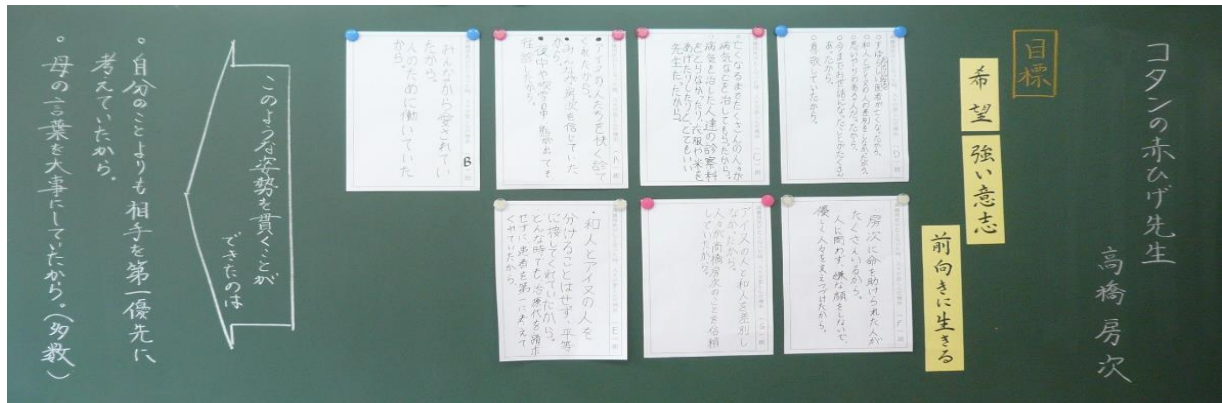
#### 4 ねらい

高橋房次の生き方に触れることを通して、希望と強い意志をもち、困難や失敗を前向きに乗り越えようとする態度を育てる。

#### 5 学習指導過程

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・子どもの反応	・指導上の留意点 ■評価	「考え、議論する道徳」 に向けた工夫
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の目標や夢を振り返り、ワークシートに記入する。</li> <li>○ 何があっても達成したい目標や夢はありますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・来月の部活動の大会で優勝したい。</li> <li>・将来は、人の役に立つような仕事がしたい。</li> </ul> </li> <li>● 本時のねらいについて確かめる。</li> <li>○ 今日は、困難な状況でも前向きに生きることにについて考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けとして、目標や夢を想起する場を設ける。</li> <li>・「希望」、「前向きに生きる」等の本時の学習に係るキーワードを示す。</li> </ul>	<b>【工夫①】</b> ・教材文の内容を捉えることに終始することのないよう、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図るとともに、キーワードを示して思考の道筋を付ける。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 補足資料を提示した後、教材「コタンの赤ひげ先生」を読み、話し合う。</li> <li>○ 房次が理想とする医療はどんな医療だと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・和人とアイヌの人たちを分け隔てるようなことはしなかったの、平等な医療だと思う。</li> <li>・治療代が払えないようなときでも、診察したので、困っている人のための医療だと思う。</li> <li>・患者の家が遠く、吹雪の中でも診察に行ったので、優しい医療だと思う。</li> </ul> </li> <li>◎ 困難な状況にも負けずに、房次が仕事を貫いたのはなぜだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世のため人のため」という母の言葉を忘れなかったから。</li> <li>・目の前の困っている病人を救いたいという気持ちが強かったから。</li> <li>・地域医療の仕事に誇りをもっていたから。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・房次の目指した医療について、様々な人々の立場から考えさせる。</li> <li>・考えたことをワークシートに記入し、グループで交流する。</li> <li>・房次の生き方について話し合い、信念を曲げずに、困難を乗り越える強い心についての価値理解・他者理解を深められるようにする。</li> </ul>	<b>【工夫②】</b> ・異なる立場や視点から考えさせる発問の工夫を行い、生徒が多面的・多角的に考えることができるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己を見つめる。</li> <li>○ 困難や失敗を乗り越えてよかったと思ったことや大切だと思ったことは何ですか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標は達成できなかったが、努力したことは無駄にはならないと思った。</li> <li>・あきらめずに最後までやり抜こうとすることが大切だと思う。</li> <li>・仲間とやり遂げることで絆が深まったと思う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の目標や夢に向かう姿を振り返り、自身の生き方について考えさせる。</li> <li>■ 目標や夢に向かって、困難を乗り越える強い心について自分との関わりで考えを深めることができたか。</li> </ul>	<b>【工夫③】</b> ・グループで共通点や相違点について交流することで、価値理解や他者理解を深めることができるようにする。
終 末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師の説話を聞く。</li> <li>※これまでの経験から教師が目標に向かって困難を乗り越えようとしたことについて話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標や夢に向かって、前向きに取り組もうとする態度が育まれるようにする。</li> </ul>	<b>【工夫④】</b> ・導入で示した目標や夢について振り返ることで、ねらいとする道徳的価値について、自分との関わりで捉え、自己理解を深めることができるようにする。
			<b>【工夫⑤】</b> ・教師が自ら説話を行うことにより、生徒の心情に訴え、ねらいとする道徳的価値を生徒が一層主体的に捉えることができるようにする。

6 板書



7 ノート・ワークシート

1. あなたの「何があっても達成したい目標や夢」を書きましょう。  
 ☆未来のことであれば、いつのことでも良いです。  
 (例: 来月、1年後、高校生になったら、大人になったら...)  
 ☆具体的な内容でも、はっきりしていない内容でも、どちらでも良いです。  
 (例: 学習面、運動面、部活の大会、就きたい職業、こんな人間になりたい など...)

3年後、高校生になって志望校に入れるために頭良くなりたいたい。

2. 高橋房次が亡くなった時、多くの人々が悲しんだのはなぜだと思いますか。(箇条書きで)

- 白老町の町民は、今までお世話になったことがたくさんあったから。
- 尊敬していたから。
- ◇ すばらしい・たよりになる医者が亡くなったから。
- ◇ 和人とアイヌの人を差別をしなかったから。
- ◇ 思いやりのある人だったから。

○...自分の考え  
 ◇...グループの考え

このような姿勢を貫くことができたのは...

3.

町民や房次の母の言葉から、自分はどうするべきか考えていたから。

4. あなたの「何があっても達成したい目標や夢」を達成するために必要だと思うことを書きましょう。

・何事にもあきらめずにヤツ切って、勉強に力を入れる。  
 ・自分で考えながら、行動できるようにする。

**【授業実践を振り返って】**

希望と強い意志をもち、困難や失敗を前向きに乗り越えようとする大切さについて自分との関わりで多面的・多角的に考えることができるよう、発問の構成を工夫し、「房次の理想とする医療とはどんな医療か」について、人々の姿から多面的・多角的に考えさせた後、中心的な発問として、「困難な状況にも負けずに、房次が仕事を貫いたのはなぜだろう」と問いかけました。

生徒からは、

- ・地域の人々の信頼に応えなかったから。(信頼を築く)
- ・自分のことより病人や苦しむ人を一番に考えていたから。(思いやりの心をもつ)
- ・人の役に立ちたいと強く思っていたから。(公共のために働く)

などの発言が見られ、「友情、信頼」「思いやり、感謝」「社会参画、公共の精神」「勤労」等、関連する道徳的価値を自分との関わりで、多面的・多角的に考えながら「希望と勇氣、克己と強い意志」について考えを深めることができました。